

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 防災計画改定とコロナ対策について(20分)</p> <p>政府は5月29日、国や自治体を実施する災害対策を示した防災基本計画を修正しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が感染拡大したことを踏まえ、避難所の過密を抑えるなど「感染症対策の観点を取り入れた対策の推進が必要」と明記しました。避難所は不特定多数の住民が密集し、感染症のリスクが高いとされています。基本計画では備蓄するのが望ましい物資にマスクと消毒液を追加しました。避難所を運営する市区町村に対し、平時から感染者が発生した場合の対応などを検討するよう促しました。また、密集を避けるため避難所の増設が有効で、既存の公共施設が不足している場合はホテルや旅館の活用を視野に入れるべきだとしています。</p> <p>こうした改定の内容を踏まえ、以下質問いたします。</p> <p>(1) 現状と課題について (2) 避難所の過密を防ぐための環境づくりについて (3) 避難施設の増設と感染症対策について</p>	市長
<p>2 生活保護申請について(10分)</p> <p>新型コロナウイルスの「特定警戒都道府県」に指定されていた道府県庁所在地の多くで、4月の生活保護申請件数が前年から2～5割増えていたことが共同通信のまとめで分かりました。休業要請などに伴い雇用情勢が悪化しているためとみられます。また、感染者本人と濃厚接触者の家族が、仕事を休まざるを得なくなって生活が困窮している家庭も出てきています。生活保護の申請は今後全国的に増加するとの見方が強くなっています。こうした状況での本市の現状と取組について伺います。</p>	市長
<p>3 包括的支援について(10分)</p> <p>ひきこもりや介護、貧困といった複雑化・複合化した課題を抱える家庭に対し一括して相談に乗れるよう、市区町村の相談体制の構築を支援するなどの内容を盛り込んだ、いわゆる改正社会福祉法が6月5日の参院本会議で可決、成立しました。</p> <p>親が80代、ひきこもりの子どもが50代になり、親子で生活に困窮する「8050問題」や子育てと介護の「ダブルケア」など複</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>合的な相談に対応するため2021年4月から施行されます。</p> <p>新たな事業を行う場合には交付金が受け取れます。事業の取組は自治体の判断に任されます。このような観点から、本市の改正社会福祉法への対応について質問します。</p> <p>(1) 現状と課題について</p> <p>(2) 今後の包括的支援体制の在り方について</p>	